

第二部 紀 要

|

I. 業 績

1. 健康科学部門

吉川 弘明

学内委員会など

- ・ 附属病院産業医
- ・ 附属病院安全衛生委員会委員
- ・ 安全衛生マネジメント委員会委員
- ・ 感染症予防・対策委員会委員
- ・ 学生生活部会委員
- ・ 禁煙キャンペーン WG 座長

学内での教育活動

- ・ 導入科目 大学・社会生活論「健康論」(前期, 角間) 2 クラス担当
- ・ 総合科目 c (自分を知る・他者を知る) 健康論実践 A-生活習慣病予防を食事から考える- (前期前半, 角間) 5/7.5 コマ担当
- ・ 総合科目 c (自分を知る・他者を知る) 健康論実践 B-救急蘇生と安全な大学生活- (前期後半, 角間) 5/7.5 コマ担当
- ・ 総合科目 c (自分を知る・他者を知る) 健康論実践 D-生活習慣病予防を食事から実践する- (後期後半) 4/7.5 コマ担当
- ・ テーマ別科目 c (自分を知る・他者を知る) 基本の調理 (後期前半) 7.5/15 コマ担当
- ・ テーマ別科目 c (自分を知る・他者を知る) 心と体の健康 (後期) 15/15 コマ担当
- ・ テーマ別科目 c (自分を知る・他者を知る) 健康心理学 (前期, 角間) 2/15 コマ担当。
- ・ 医薬保健学域 神経内科 (前期, 宝町) 1/7.5 コマ担当。

学内での医療活動

- ・ 附属病院神経内科外来担当 (水曜日午前)
- ・ 附属病院セカンド・オピニオン外来担当 (重症筋無力症)
- ・ 保健管理センター本部, 南分室, 宝町分室

学会発表

- ・ Yumi Adachi, Hiroaki Yoshikawa, Diverse Student Counseling Systems in Japanese Universities: A Comparison with the U.S. System. American College Health Association 2013 Annual Meeting, Boston, May 28-June 1, 2013
- ・ Mayumi Yamamoto, Hiroaki Yoshikawa, Yumi Adachi, Aki Kanoh, Yuki Isomura, Tadahiro Sado, Akihiro Nishio: "Promotion for Japanese University Students to Consider Life Planning: Career Life and Family Life." 2013 the 29th International Congress of the Medical Women's International Association, Ewha Womans University, Seoul, Korea, July 31 - August 3, 2013.
- ・ 吉川弘明, 山本眞由美, 足立由美, 山縣然太郎: 妊娠出産の視点からの大学生の健康支援の必要性-全国大学保健管理施設の調査-. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 津, 2013 10 23-24
- ・ 足立由美, 吉川弘明, 伊藤大輔, 佐藤正英, 東 昭孝, 高田良宏, 青木健一, 田上芳美, 池田美智子, 得永美和, 亀田真紀, 今野哲雄, 清水美保, 小泉順二: 学生支援のための情報集約システム導入による学生生活に置ける危機管理。第 51 回全国大学保健管理研究集会, 岐阜, 2013 11 13-14
- ・ 池田美智子, 今野哲雄, 田上芳美, 得永美和, 亀田真紀, 植島 郁, 柿本晴美, 芦原百合子, 清水美保, 伊藤大輔, 足立由美, 吉川弘明, 小泉潤一: 金沢大学進入大学生における ALT 値の検討。第 51 回全国大学保健管理研究集会, 岐阜, 2013 11 13-14
- ・ 岩佐和夫, 吉川弘明, 小野賢二郎, 濱口 毅, 篠原もえ子, 佐村木美晴, 中村裕之, 山田正仁: 重症筋無力症通院患者における 2012 年上半期の抗アセチルコリン受容体抗体価の上昇現象。第 54 回日本神経学会学術大会, 東京, 2013.5.29
- ・ 岩佐和夫, 吉川弘明, 小野賢二郎, 濱口 毅, 篠原もえ子, 佐村木美晴, 中村裕之, 山田正仁: 重症筋無力症患者における抗アセチルコリン受容体抗体価の 5 年間にわたる時系列推移。第 25 回日本神経免疫学会学術集会, 下関, 2013.11.27

研究会・班会議等

- ・ 吉川弘明, 岩佐和夫, 小野賢二郎, 濱口 毅, 篠原もえ子, 佐村木美晴, 山田正仁, 中村裕之
金沢大学附属病院における 2012 年上半期の重症筋無力症患者抗アセチルコリン受容体抗体価の上昇現象 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究 班会議, 東京, 2013 1 23-24
- ・ 吉川弘明, 小林星太, 横山 茂, 光本泰秀, 室山明子, 岩佐和夫, 山田正仁, 丸田高広 神経型ニコチン性アセチルコリン受容体を標的とする自己免疫性神経疾患の病体 -抗 $\alpha 3$ サブユニット抗体による受容体機能障害作用- 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究 班会議, 東京, 2013 1 23-24
- ・ 吉川弘明, 山本眞由美, 足立由美, 笹川寿之, 塙 清美, 北村邦夫, 日本産婦人科学会, 茨城県産婦人科学会 大学における女子学生の健康に関する実態と対策に関する研究 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診, 乳幼児健診データの利活用に関する研究 班会議, 東京, 2013 2 4

学会・研究会における特別講演・招待講演・教育講演

- ・ Yoshikawa H. The current concept of therapy for myasthenia gravis in Japan. 2013 Annual Meeting of Korean Society of Neuromuscular Disorder. Key note lecture, Seoul, Korea, 2013 11 23.
- ・ Yoshikawa H. Corrent usage of Prograf in Japan. Lecture at Serevrance Hospital . Seoul, Korea, 2013 11 22
- ・ Yoshikawa H. Corrent usage of Prograf in Japan. Lecture at Samusung Medical Center. Seoul, Korea, 2013 11 22

学会における貢献

- ・ 全国大学保健管理協会 理事 評議員 機関誌「CAMPUS HEALTH」副編集委員長, 国際連携委員会委員
- ・ 国立大学法人保健管理施設協議会 理事 食とウェルネスに関する調査研究班主査, 国際交流特別委員会副委員長
- ・ 日本神経学会 代議員 専門医 指導医 重症筋無力症診療ガイドライン作成委員会委員
- ・ 日本神経免疫学会 評議員 新規治療・保険委員会委員, 重症筋無力症治験等支援グループ長
- ・ 日本神経治療学会 評議員
- ・ 全国大学メンタルヘルス研究会 会員
- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 日本神経心理学会 会員
- ・ 日本産業衛生学会 会員
- ・ 日本公衆衛生学会 会員
- ・ 日本総合健診医学会 会員
- ・ 日本人間ドック学会 会員
- ・ 日本健康心理学会 会員
- ・ 日本教育心理学会 会員
- ・ 日本自律神経学会 会員
- ・ 米国大学保健学会 (American College Health Association) 会員
- ・ 米国カウンセリング協会 (American Counseling Association) 会員
- ・ 米国大学カウンセリング協会 (American College Counseling Association) 会員
- ・ 米国神経学会 (American Academy of Neurology) 会員

学会論文査読

2013 (平成 25) 年

- ・ 英文誌 6 編
- ・ 和文誌 2 編

研究助成等

- ・ 吉川弘明: 文部科学省/日本学術振興会・平成 24 年度科学研究費 基盤研究(C)『神経型アセチルコリン受容体を標的とした自己免疫性神経疾患』・研究代表者
- ・ 吉川弘明: 厚生労働省・難治性疾患克服研究事業『免疫性神経疾患に関する調査研究』班 (一般型)・研究分担者 (研究代表者・楠 進)
- ・ 吉川弘明: 厚生労働科学研究費補助金・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診, 乳幼児健診データの利活用に関する研究」班 (一般型)・研究分担者 (研究代表者・山縣然太郎)

- ・ 吉川弘明：厚生労働科学研究費補助金「若い男女の結婚・妊娠時期計画支援に関するプロモーションプログラムの開発に関する研究」班・研究分担者（研究代表者：山本眞由美）
- ・ NIH/NINDS MGTX study, Principal Investigator of Kanazawa University

論文・報告書等

（報告書）

- ・ 吉川弘明, 岩佐和夫, 小野賢二郎, 濱口 毅, 篠原もえ子, 佐村木美晴, 山田正仁, 中村裕之
金沢大学附属病院における 2012 年上半期の重症筋無力症患者抗アセチルコリン受容体抗体価の上昇現象 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究 総括・分担研究報告書 pp109-110.
- ・ 吉川弘明, 小林星太, 横山 茂, 光本泰秀, 室山明子, 岩佐和夫, 山田正仁, 丸田高広 神経型ニコチン性アセチルコリン受容体を標的とする自己免疫性神経疾患の病体 -抗 $\alpha 3$ サブユニット抗体による受容体機能障害作用- 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究 総括・分担研究報告書 pp111-112.
- ・ 吉川弘明, 山本眞由美, 足立由美, 笹川寿之, 塙 清美, 北村邦夫, 日本産婦人科学会, 茨城県産婦人科学会 大学における女子学生の健康に関する実態と対策に関する研究 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診, 乳幼児健診データの利活用に関する研究 平成 24 年度 総括・分担研究報告書 pp155-176.
- ・ 足立由美, 吉川弘明, 宮崎節子, 田上芳美, 池田美智子, 亀田真紀, 柿本晴美, 伊藤大輔, 坪川俊成, 清水美保, 小泉順二：自殺予防のためのポストベンションー学生へのメッセージと教職員研修の効果ー CAMPUS HEALTH Vol. 50 No.1 pp. 502-503 2013.3
- ・ 宮崎節子, 田上芳美, 池田美智子, 亀田真紀, 伊藤大輔, 坪川俊成, 清水美保, 足立由美, 吉川弘明, 小泉順二：流行性耳下腺炎の抗体価の推移ー健康調査の罹患歴・予防接種歴ー CAMPUS HEALTH Vol. 50 No.1 pp. 341-342 2013.3

（論文）

- ・ Negami M, Maruta T, Takeda C, Adachi Y, Yoshikawa H. Sympathetic skin response and heart rate variability as diagnostic tools for the differential diagnosis of Lewy body dementia and Alzheimer's disease: a diagnostic test study. BMJ Open. 2013 Mar 1;3(3). doi:pii: e001796. 10.1136/bmjopen-2012-001796. Print 2013. PMID: 23457321 [PubMed]
- ・ Kobayashi S, Yokoyama S, Maruta T, Negami M, Muroyama A, Mitsumoto Y, Iwasa K, Yamada M, Yoshikawa H. Autoantibody-induced internalization of nicotinic acetylcholine receptor $\alpha 3$ subunit exogenously expressed in human embryonic kidney cells. J Neuroimmunol. 2013 Apr 15;257(1-2):102-6. doi: 10.1016/j.jneuroim.2012.12.010. Epub 2013 Jan 11. PMID: 23313381
- ・ Shota Kobayashi, Shigeru Yokoyama, Takahiro Maruta, Akiko Muroyama, Hiroaki Yoshikawa, Yasuhide Mitsumoto. Attenuation of nicotine-evoked Ca^{2+} influx by antibody to the nicotinic acetylcholine receptor $\alpha 3$ subunits in human embryonic kidney cells. Advances in Bioscience and Biotechnology 4: 9-14, 2013
- ・ 吉川弘明：抗アセチルコリン受容体抗体 検査値を読む 2013 内科 111:1388-1389, 2013
- ・ 吉川弘明：重症筋無力症と妊娠・出産 神経内科 78:514-519, 2013
- ・ 足立由美・吉川弘明：「ACHA 2012 Annual Meeting in Chicago で Student Health Care on Campuses in Japan を発表して」 全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 50 No.2 pp. 236-239 2013. 5

（著書）

- ・ 吉川弘明：重症筋無力症（成人） 今日の神経疾患治療指針 第2版 医学書院，東京，pp824-831 2013/03
- ・ 吉川弘明：甲状腺異常性眼症 今日の神経疾患治療指針 第2版 医学書院，東京，pp1017-1020 2013/03
- ・ 吉川弘明：健康論 知的キャンパスライフのすすめ ースタディ・スキルズから自己開発へー 学術図書出版社，pp125-134 2013/04
- ・ 根上昌子, 丸田高広, 吉川弘明：心拍変動を利用した認知症判定システムの研究 パーソナル・ヘルスケア ユビキタス, ウェアラブル医療実現に向けたエレクトロニクス研究最前線 第2編 モニタリングデバイス・システム研究開発の最前線, 第7章 その他注目されるデバイス・システム 第6節 株式会社エヌ・ティー・エス，東京，pp277-282, 2013/10

学外での教育活動

学外における社会貢献活動

- ・ 厚生労働省・難治性疾患対策研究事業「免疫性神経疾患に関する研究」班・分担研究者
- ・ 厚生労働省・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究」班・分担研究者
- ・ 難病情報センター情報企画委員 「重症筋無力症」担当
- ・ 日本多発性硬化症協会 医学顧問
- ・ Mayo Neuroscience Forum 幹事
- ・ 2013.8.6 教員免許状更新講習「学校保健に必要な知識のワクチンー2013」講師 2/4 コマ担当
- ・ 2013.3.10 田上新町餅つき大会への協力（学生クルーの指導）
- ・ 2013.8.3 田上新町夏祭りへの協力（学生クルーの指導）
- ・ 2013.10.6 田上神明まつりへの協力（学生クルーの指導）
- ・ 2013.10.13 田上神明社秋祭りへの協力（学生クルーの指導）
- ・ 2013.10.20 秋の全市一斉美化清掃への協力（学生クルーの指導）

特許

- ・ 発明の名称：レビー小体型認知症の判定方法、判定装置並びにプログラム
出願人：国立大学法人金沢大学
発明者：丸田高広，吉川弘明，角 弘諭
出願番号：特願 2008-252690（平成 20 年 9 月 30 日）
登録番号：特許第 5252345 号（平成 25 年 4 月 26 日）
- ・ 発明の名称：心筋障害の検査方法
出願人：国立大学法人金沢大学
発明者：吉川弘明，横山 茂，丸田高広，角 弘諭，根上昌子
出願番号：特願 2010-036741（平成 22 年 2 月 23 日）
登録番号：特許第 5370969 号（平成 25 年 4 月 26 日）

足立 由美

学内委員会など

- ・ 学生相談連絡会委員
- ・ 共通教育委員会 教務・学生委員会委員
- ・ 障害学生支援委員会委員
- ・ 学生サポートガイドブック編集委員会委員
- ・ きいつけまっし編集委員会委員
- ・ なんでも相談室相談員
- ・ ハラスメント相談員（助言者）
- ・ 学生支援システムの開発と運用WG委員（～2013 年 3 月）
- ・ 自殺対策検討WG委員（～2013 年 3 月）
- ・ 文部科学省平成 24 年度大学間連携共同教育推進事業 「学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築」障がい学生等支援 学内検討グループ委員

学内での教育的活動

- ・ 「健康論」（共通教育「大学・社会生活論」・前期）3 クラス，1/15 コマ担当。
- ・ 「健康論実践 Aー生活習慣病予防を食事から考えるー」（共通教育特設プログラム健康・自己管理，前期）コーディネーター。「調理実習」2/7.5 コマ担当。
- ・ 「健康論実践 Bー救急蘇生と安全な大学生活ー」（共通教育特設プログラム健康・自己管理，前期）コーディネーター。「学生生活とメンタルヘルス」1/7.5 コマ担当。
- ・ 「健康論実践 Cー自己発見のためのグループワークー」（共通教育特設プログラム健康・自己管理，前期）コーディネーター。7.5/7.5 コマ担当。
- ・ 「健康論実践 Dー生活習慣病予防を食事から実践するー」（共通教育特設プログラム健康・自己管理，後期）コーディネーター。「グループ発表」「調理実習」3/7.5 コマ担当。
- ・ 「健康論実践 Eー自己発見のためのグループワークー」（共通教育特設プログラム健康・自己管理，後期）コーディネーター。7.5/7.5 コマ担当。
- ・ 「健康心理学」（共通教育特設プログラム健康・自己管理，前期）コーディネーター。15/15 コマ担当。

マ担当。

- ・「心と体の健康」（共通教育特設プログラム健康・自己管理，後期）「視覚の世界－錯視と認知の問題－」「私とは何か－私はいつも“私”－」2/15 コマ担当。
- ・「日本文化演習Ⅰ」（日本語・日本文化研修プログラム：留学生対象）「健康志向と自己意識」1/15 コマ担当。
- ・「教育実践基礎研究」（教育学研究科・前期）3/15 コマ担当。
- ・「教育臨床演習Ⅱ」（教育学研究科・後期）4/15 コマ担当。
- ・2013.4.10 ランチョンセミナー「大学生活を充実させるために－学生相談窓口の紹介－」
- ・2013.4.18 ランチョンセミナー「学生クルー活動の紹介－学生クルーメンバー募集中！－」

学内講演

- ・2013.2.18 平成 24 年度サークルリーダー研修会 講師「サークルにおけるリーダーシップについて」
- ・2013.4.2 平成 25 年度第 1 回学生相談研修会：なんでも相談員研修会講師「相談を受けるときの基本的な態度について」
- ・2013.4.5 平成 25 年度金沢大学新任教員 FD 研修会 講師「学生の心のケアおよび学生相談について」
- ・2013.5.13 理工学域・自然科学研究科新任教員初任者研修会及び講演会 講師「心の問題や障がいのある学生への具体的対応」
- ・2013.7.17 人文学類 FD 研修会 講師「心の問題を持つ学生への具体的対応」
- ・2013.7.30 平成 25 年度ハラスメント相談研修会 講師「傾聴について」
- ・2013.10.10 学校教育学類 FD 研修会 講師「心の問題を持つ学生への理解と対応」
- ・2013.12.17 機械工学類 FD 研修会 講師「学生のメンタル問題とカウンセリングの利用方法」
- ・2013.12.26 人間社会学域教員 FD 研修会 悩みをもつ学生とのかかわり方 講師「金沢大学の取組みと心掛けること」

学会発表

- ・足立由美：「発達障害学生への卒業期の支援－学内外の機関・キーパーソンとの連携と協働の実例－」 日本学生相談学会第 31 回大会 於 琉球大学 2013.5.18～20
- ・Yumi Adachi, Hiroaki Yoshikawa: “Diverse Student Counseling Systems in Japanese Universities: A comparison with the US system.” 2013 American College Health Association Annual Meeting, Boston, Massachusetts, May28 - June 1, 2013.
- ・足立由美, 吉川弘明, 伊藤大輔, 佐藤正英, 東昭孝, 高田良宏, 青木健一, 田上芳美, 池田美智子, 得永美和, 亀田真紀, 今野哲雄, 清水美保, 小泉順二：学生支援のための情報集約システム導入による学生生活における危機管理 第 51 回全国大学保健管理研究集会 於 長良川国際会議場・岐阜都ホテル（岐阜大学） 2013.11.13～14
- ・金子玲子・足立由美「継続してきた企画－ベーシックエンカウンター・グループ，ワークショップいろいろ－」（実行委員企画プログラム「学生相談の深みと彩り－個別体験の語りから－」）進行役 第 46 回全国学生相談研究会 於 財団法人モラロジー研究所谷川講堂 2013.1.21～23
- ・Mayumi Yamamoto, Hiroaki Yoshikawa, Yumi Adachi, Aki Kanoh, Yuki Isomura, Tadahiro Sado, Akihiro Nishio: “Promotion for Japanese University Students to Consider Life Planning: Career Life and Family Life.” 2013 the 29th International Congress of the Medical Women’s International Association, Ewha Womans University, Seoul, Korea, July31 - August 3, 2013.
- ・吉川弘明, 山本眞由美, 足立由美, 山縣然太郎：「妊娠出産の視点からの大学生の健康支援の必要性－全国大学保健管理施設の調査－」第 72 回日本公衆衛生学会総会 於 三重県総合文化センター 2013.10.23～25
- ・池田美智子, 今野哲雄, 田上芳美, 得永美和, 亀田真紀, 植島郁, 柿本晴美, 芦原百合子, 清水美保, 伊藤大輔, 足立由美, 吉川弘明, 小泉順二：金沢大学新入大学生における ALT 値の検討 第 51 回全国大学保健管理研究集会 於 長良川国際会議場・岐阜都ホテル（岐阜大学） 2013.11.13～14

学会における貢献

- ・日本学生相談学会会員 理事 学術交流委員（2013 年 5 月～）
- ・日本心理臨床学会会員

- ・ 日本健康心理学会会員
- ・ 日本教育心理学会会員
- ・ 日本公衆衛生学会会員
- ・ 米国大学保健管理学会 (American College Health Association) 会員
- ・ 米国大学カウンセリング学会 (American College Counseling Association) 会員
- ・ 米国カウンセリング学会 (American Counseling Association) 会員
- ・ 全国学生相談研究会 会員
- ・ 石川県臨床心理士会 会員

研究助成等

- ・ 厚生労働科学研究費補助金・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業『母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究』班（一般型）・（平成 24 年度）研究協力者（研究代表者・山縣然太郎）
- ・ 厚生労働科学研究費補助金『若い男女の結婚・妊娠時期計画支援に関するプロモーションプログラムの開発に関する研究』班（平成 25-26 年度）研究協力者（研究代表者・山本眞由美）

論文・報告書等

（報告書）

- ・ 足立由美, 吉川弘明, 宮崎節子, 田上芳美, 池田美智子, 亀田真紀, 柿本晴美, 伊藤大輔, 坪川俊成, 清水美保, 小泉順二: 自殺予防のためのポストベンションー学生へのメッセージと教職員研修の効果ー CAMPUS HEALTH Vol. 50 No.1 pp. 502-503 2013.3
- ・ 宮崎節子, 田上芳美, 池田美智子, 亀田真紀, 伊藤大輔, 坪川俊成, 清水美保, 足立由美, 吉川弘明, 小泉順二: 流行性耳下腺炎の抗体価の推移ー健康調査の罹患歴・予防接種歴ー CAMPUS HEALTH Vol. 50 No.1 pp. 341-342 2013.3
- ・ 金子玲子・足立由美「継続してきた企画ーベーシックエンカウンター・グループ, ワークショップいろいろー」(実行委員企画プログラム「学生相談の深みと彩りー個別体験の語りからー」) 第 46 回全国学生相談研究会報告書 pp. 35. 2013.3
- ・ 吉川弘明, 山本眞由美, 足立由美, 笹川寿之, 塙 清美, 北村邦夫, 日本産婦人科学会, 茨城県産婦人科学会 大学における女子学生の健康に関する実態と対策に関する研究 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診, 乳幼児健診データの利活用に関する研究 平成 24 年度 総括・分担研究報告書 pp155-176.

（論文）

- ・ 足立由美・吉川弘明: 「ACHA 2012 Annual Meeting in Chicago で Student Health Care on Campuses in Japan を発表して」 全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 50 No.2 pp. 236-239 2013.5
- ・ 足立由美: 「平成 23 年度のメンタルヘルス・学生相談業務」 金沢大学保健管理センター 金沢大学保健管理センター年報・紀要 No.5 pp.80-83 2013.3
- ・ Negami M, Maruta T, Takeda C, Adachi Y, Yoshikawa H. Sympathetic skin response and heart rate variability as diagnostic tools for the differential diagnosis of Lewy body dementia and Alzheimer's disease: a diagnostic test study. BMJ Open. 2013 Mar 1;3(3). doi:pii: e001796. 10.1136/bmjopen-2012-001796. Print 2013. PMID: 23457321 [PubMed]

学外講演

- ・ 2013.7.12 北陸先端科学技術大学院大学平成 25 年度第 1 回全学 FD・SD セミナー講師「メンタルヘルスを考慮した学生の研究指導」於 北陸先端科学技術大学院大学
- ・ 2013.8.7 金沢健康づくり栄養士の会平成 25 年度第 1 回研修会講師「統計の基礎ーアンケートデータを活用するためにー」於 金沢健康プラザ大手町西館
- ・ 2013.11.25-27 第 51 回全国学生相談研修会 分科会 A1「学生相談の基礎と実践 I」講師, 小講義 T8「開かれた学生相談活動と学内連携の実際」司会 於 東京国際フォーラム

学外における社会貢献活動

- ・ 2013.3.10 田上新町餅つき大会への協力 (学生クルーの指導)
- ・ 2013.8.3 田上新町夏祭りへの協力 (学生クルーの指導)
- ・ 2013.8.6 教員免許状更新講習「学校保健に必要な知識のワクチンー2013」講師 (学校におけるメンタルヘルスケア) 1/4 コマ担当

- ・ 2013. 8. 29 金沢市自殺防止対策ネットワーク会議に出席 於 金沢市泉野福祉健康センター
- ・ 2012. 10. 6 田上神明まつりへの協力（学生クルーの指導）
- ・ 2013. 10. 13 田上神明社秋祭りへの協力（学生クルーの指導）
- ・ 2013. 10. 20 秋の全市一斉美化清掃への協力（学生クルーの指導）

伊藤 大輔

学内委員会など

- ・ 学生相談連絡会委員
- ・ ハラスメント相談員(助言者)
- ・ なんでも相談室相談員

学内での教育的活動

(学部)

- ・ 健康論(共通教育「大学・社会生活論」 5クラス 2013 前期 1/15 担当
- ・ 健康論実践 A 「食事と心の健康」 2013 前期 1/15 担当
- ・ 健康論実践 B 「産業におけるメンタルヘルス」 2013 前期 1/15 担当
- ・ ストレス臨床心理学 2013 後期 15/15 担当
- ・ 心と体の健康 2013 後期 1/15 担当

(大学院－教育学研究科)

- ・ 教育実践基礎研究 2013 前期 3/15 担当
- ・ 学校教育心理特論 F(パーソナリティ心理学) 2013 前期 15/15 担当

学内講演

- ・ 2013. 12. 3 学生支援プログラム「ストレスマネジメント」講師
- ・ 2013. 12. 5 平成 25 年度金沢大学地域創造学類 FD 研修会 「発達障害学生の特徴と関わり方について」講師

学会発表

(シンポジウム)

- ・ 城月健太郎・山本隆一郎・伊藤大輔・中尾睦弘 2013 「効果的な認知変容とそのプロセス」 第 13 回日本認知療法学会自主企画シンポジウム 発表論文集, 76.
- ・ 小関俊祐・国里愛彦・伊藤大輔・水島秀人・兼子唯・田上明日香・鈴木伸一 2013 うつ病の発症および再発予防への認知行動療法の貢献 第 77 回日本心理学会発表論文集, S11.

(ポスター発表)

- ・ Ito, D., Kanako, N., Kamo, T., Ujiie, Y., Suzuki, S., & Kim, Y. 2013 Differences Between the Factors Correlated With Post-Traumatic Stress Symptoms and the Social Disability of Post-Traumatic Stress Disorder Patients: Cognitive Appraisal of Trauma, Symptoms, and Coping. Asia of Behavioral and Cognitive Therapies, 56.
- ・ 伊藤大輔, 小関俊祐 2013 東日本大震災被災生徒における出来事や症状への認知と外傷後成長が PTSD 症状とうつ症状に及ぼす影響 第 5 回日本不安障害学会学術大会抄録集, 120.
- ・ Tanoue, A., Ito, D., Shimizu, K., Ogno, M., Shirai, M., Shimada, H., & Suzuki, S. 2013 Cognitive behavioral group therapy for employees on sick leave due to depression. Asia of Behavioral and Cognitive Therapies, 50.
- ・ Kaneko, Y., Suyama, H., Ito, R., Ito, D., Kaiya, H., Kumano, H., & Suzuki, S. 2013 The effect of cognitive behavior group therapy on return to work. Asia of Behavioral and Cognitive Therapies, 51.
- ・ 伊藤理沙・巢山晴菜・兼子唯・伊藤大輔・国里愛彦・島田真衣・横山仁史・吉田栄治・貝谷久宣・鈴木伸一 2013 曖昧な場面の肯定・中性・否定的解釈が SAD 症状に及ぼす影響 第 5 回日本不安障害学会学術大会抄録集, 87.
- ・ 足立由美・吉川弘明・伊藤大輔・佐藤正英・東昭孝・高田良宏・青木健一・田上芳美・池田美智子・得永美和・亀田真紀・今野哲雄・清水美保・小泉順二：学生支援のための情報集約システム導入による学生生活における危機管理 第 51 回全国大学保健管理研究集会 於 長良川国際会議場・岐阜都ホテル（岐阜大学） 2013. 11. 13～14.
- ・ 池田美智子・今野哲雄・田上芳美・得永美和・亀田真紀・植島郁・柿本晴美・芦原百合子・清

水美保・伊藤大輔・足立由美・吉川弘明・小泉順二：金沢大学新入大学生における ALT 値の検討 第 51 回全国大学保健管理研究集会 於 長良川国際会議場・岐阜都ホテル（岐阜大学）
2013. 11. 13～14

学外における貢献

- ・ 日本行動療法学会 会員
- ・ 日本認知療法学会 会員
- ・ 日本心理学会 会員
- ・ 日本不安障害学会 会員
- ・ 日本トラウマティックストレス学会 会員
- ・ 日本ストレス学会 会員
- ・ 日本うつ病学会 会員
- ・ 日本学生相談学会 会員
- ・ 石川県臨床心理士会 会員

研究助成・学術賞

- ・ 文部科学省 日本学術振興会 科学研究費 研究活動スタート支援 2012～2013 「外傷性ストレス体験者の否定的、肯定的な認知や活動に着目した認知行動論的研究」（研究代表）
- ・ 財団法人 メンタルヘルス岡本記念財団 平成 25 年度研究・活動助成 「東日本大震災高校生への森田療法と認知行動療法を用いた集団介入の効果」（研究分担者）
- ・ 日本行動療法学会 学会賞（内山記念賞） 「心理士による集団認知行動療法がうつ病患者のうつ症状の改善に及ぼす効果：対照比較研究」（筆頭論文）
- ・ 日本ストレス学会 学会賞（加藤・岩根賞） 「トラウマと症状に対する否定的認知および対処方略が非致死性トラウマによって生じた外傷後ストレス症状に及ぼす影響」（筆頭論文）

論文、報告書等

（書籍）

- ・ 伊藤大輔 2013 ト라우マ体験者の外傷後ストレス症状に関する認知行動モデル 風間書房

（論文）

- ・ 伊藤大輔，鈴木伸一 2013 ト라우マと症状に対する否定的認知および対処方略が非致死性トラウマによって生じた外傷後ストレス症状に及ぼす影響 ストレス科学，27(3)，282-290.
- ・ 伊藤大輔・田上明日香・大野真由子・清水馨・奈良元壽・鈴木伸一 2013 企業従業員における報酬と罰の感受性とストレッサー，ストレス反応との関連 ストレス科学，27(3)，291-300.
- ・ 小関俊祐・小関真美・大谷哲弘・伊藤大輔 2013 東日本大震災被災生徒の PTSD 症状と抑うつに及ぼす心理的要因の影響 ストレス科学研究，28，66-73.
- ・ Koseki, S., Noda, T., Yokoyama, S., Kunisato, Y., Ito, D., Suyama, H., Matsuda, T., Sugimura, Y., Ishihara, N., Shimizu, Y., Nakazawa, K., Yoshida, S., Arima, K., & Suzuki, S. 2013 The relationship between positive and negative automatic thought and activity in the prefrontal and temporal cortices: A multi-channel near-infrared spectroscopy (NIRS) study. Journal of Affective Disorders, 151, 352-359.

学外における社会貢献

- ・ 2013. 4. 21 東京認知行動療法アカデミー講師「復職支援をねらいとした集団認知行動療法の進め方：スタッフの関わりのコツ」 早稲田大学国際会議場.
- ・ 2013. 5. 21 金沢認知行動療法研究会 講師 「うつ病休職者に対する認知行動療法を活用した復職支援の実践」
- ・ 2013. 6. 24 岩手県立高等学校 被災地支援 講師「ストレスとトラウマに対するコントロール方法を身につけよう」
- ・ 2013. 8. 31 石川県臨床心理士会被害者支援研修会 指定討論「DV・虐待 県内の現状と初期対応について学び」
- ・ 2013. 9. 19 岩手県立高等学校 被災地支援 講師 「ストレスやトラウマの理解とその対処」
- ・ 2013. 9. 27 DV 対策支援等連絡協議会に出席（石川県臨床心理士会被害者支援委員代表）
- ・ 2013. 12. 16 岩手県立高等学校 被災地支援 講師 「ストレスやトラウマの理解とその対処 2」

清水 美保

学内委員会など

- ・角間地区産業医
- ・角間地区事業場安全衛生委員会委員
- ・角間地区安全衛生マネジメント委員会委員
- ・角間地区微生物等安全管理委員会委員

学内での教育的活動

- ・医学部腎臓内科系統講義「膠原病と腎疾患」（後期，宝町）1コマ担当

学内での診療活動

- ・附属病院腎臓内科外来担当
- ・附属病院血液浄化療法部担当

学内講演

- ・サークル顧問・サークルリーダー代表説明会「熱中症予防及びAEDの使用法」（2013.8.6）

学会発表

- ・清水美保，遠山直志，北島信治，山端潤也，北川清樹，岩田恭宜，古市賢吾，徳原康哲，大川龍之介，矢富裕，和田隆志：ヒト糖尿病性腎症におけるリゾリン脂質産生酵素測定の意義．第56回日本糖尿病学会年次学術集会，熊本（2013.5.16）
- ・清水美保，遠山直志，坂井宣彦，和田隆志：2型糖尿病に伴う糖尿病性腎症の長期予後に血圧値と腎病変が及ぼす影響．第36回日本高血圧学会総会，大阪（2013.10.26）
- ・清水美保，遠山直志，北島信治，岩田恭宜，坂井宣彦，古市賢吾，大川龍之介，矢富裕，和田隆志：糖尿病性腎症におけるリゾリン脂質産生酵素測定の意味．第25回日本糖尿病性腎症研究会，東京（2013.12.7）
- ・共同演者 23題

学会における貢献

- ・日本内科学会 認定内科医，総合内科専門医，指導医
- ・日本腎臓学会 腎臓専門医
- ・日本透析医学会 専門医
- ・日本アフェレンス学会 血漿交換療法専門医
- ・日本リウマチ学会 リウマチ専門医
- ・日本高血圧学会 会員
- ・日本病態栄養学会 会員
- ・日本医師会認定産業医

論文・報告書等

（論文）

- ・ Shimizu M, Furuichi K, Toyama T, Kitajima S, Hara A, Kitagawa K, Iwata Y, Sakai N, Takamura T, Yoshimura M, Yokoyama H, Kaneko S, Wada T. Long-term outcomes of Japanese type 2 diabetic patients with biopsy-proven diabetic nephropathy. *Diabetes Care* 36: 3655-3662, 2013.
- ・ Shimizu M, Furuichi K, Yokoyama H, Toyama T, Iwata Y, Sakai N, Kaneko S, Wada T. Kidney lesions in diabetic patients with normoalbuminuric renal insufficiency. *Clin Exp Nephrol* doi: 10.1007/s10157-013-0870-0, 2013.
- ・ Toyama T, Shimizu M, Furuichi K, Kaneko S, Wada T. Treatment and impact of dyslipidemia in diabetic nephropathy. *Clin Exp Nephrol* doi: 10.1007/s10157-013-0898-1, 2013.
- ・ Toyama T, Furuichi K, Ninomiya T, Shimizu M, Hara A, Iwata Y, Kaneko S, Wada T. The impacts of albuminuria and low eGFR on the risk of cardiovascular death, all-cause mortality, and renal events in diabetic patients: meta-analysis *PLoS One* 8: e71810, 2013.
- ・ Furuichi K, Shimizu M, Toyama T, Koya D, Koshino Y, Abe H, Mori K, Satoh H, Imanishi M, Iwano M, Yamauchi H, Kusano E, Fujimoto S, Suzuki Y, Okuda S, Kitagawa K, Iwata Y, Kaneko S, Nishi S, Yokoyama H, Ueda Y, Haneda M, Makino H, Wada T. Japan Diabetic

Nephropathy Cohort Study: study design, methods, and implementation. Clin Exp Nephrol 17: 819-826, 2013.

- Wada T, Haneda M, Furuichi K, Babazono T, Yokoyama H, Iseki K, Araki S, Ninomiya T, Hara S, Suzuki Y, Iwano M, Kusano E, Moriya T, Satoh H, Nakamura H, Shimizu M, Toyama T, Hara A, Makino H. Clinical impacts of albuminuria and glomerular filtration rate on renal, cardiovascular events, and all-cause mortality in Japanese patients with type 2 diabetes. Clin Exp Nephrol doi: 10.1007/s10157-013-0879-4, 2013.
- Oshima M, Kitajima S, Toyama T, Hara A, Kitagawa K, Iwata Y, Shimizu M, Nishio S, Imura J, Yokoyama H, Furuichi K, Kaneko S, Wada T. Successful delivery in a patient with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated glomerulonephritis. Intern Med 52: 1605-9, 2013.
- Nakade Y, Toyama T, Furuichi K, Kitajima S, Ohkura N, Sagara A, Shinozaki Y, Hara A, Kitagawa K, Shimizu M, Iwata Y, Oe H, Nagahara M, Horita H, Sakai Y, Kaneko S, Wada T. Impact of kidney function and urinary protein excretion on pulmonary function in Japanese patients with chronic kidney disease. Clin Exp Nephrol doi: 10.1007/s10157-013-0920-7, 2013.

学外講演

- 糖尿病性腎症ミニレビュー. 第17回臨床研修医のための腎臓セミナー, 金沢 (2013.8.10)

学外における社会貢献活動

- 白山市予防接種健康被害調査委員会委員 (2013~)

今野哲雄

学内委員会など

- 宝町鶴間地区産業医
- 平和町地区産業医
- 安全衛生マネジメント委員会委員

英文総説

- Kawashiri MA, Hayashi K, Konno T, Fujino N, Ino H, Yamagishi M. Current perspectives in genetic cardiovascular disorders: from basic to clinical aspects. Heart Vessels. 2013 Aug 2. [Epub ahead of print]

英文論文

- Fujino N, Konno T, Hayashi K, Hodatsu A, Fujita T, Tsuda T, Nagata Y, Kawashiri MA, Ino H, Yamagishi M. Impact of systolic dysfunction in genotyped hypertrophic cardiomyopathy. Clin Cardiol. 2013 Mar;36(3):160-5.
- Liu L, Hayashi K, Kaneda T, Ino H, Fujino N, Uchiyama K, Konno T, Tsuda T, Kawashiri MA, Ueda K, Higashikata T, Shuai W, Kupersmidt S, Higashida H, Yamagishi M.
- A novel mutation in the transmembrane nonpore region of the KCNH2 gene causes severe clinical manifestations of long QT syndrome. Heart Rhythm. 2013 Jan;10(1):61-7.
- Fujita T, Fujino N, Anan R, Tei C, Kubo T, Doi Y, Kinugawa S, Tsutsui H, Kobayashi S, Yano M, Asakura M, Kitakaze M, Komuro I, Konno T, Hayashi K, Kawashiri MA, Ino H, Yamagishi M. Sarcomere gene mutations are associated with increased cardiovascular events in left ventricular hypertrophy: comparison with hypertensive heart disease J Am Coll Cardiol Heart Failure 2013 in press
- Yoshida S, Nambu S, Matsubara T, Yasuda T, Miwa K, Inoue M, Teramoto R, Okada H, Kanaya H, Tsubota M, Konno T, Hayashi K, Kawashiri MA, Yamagishi M. Platypnea-orthodeoxia syndrome: insights of mechanism from imaging. J Am Coll Cardiol. 2013 Aug 20;62(8):e15.

学会発表

- ・ Konno T, Hayashi K, Fujino N, Oka R, Masuta E, Uchiyama K, Yoshimuta T, Tada H, Nagata Y, Hodatsu A, Ino H, Kawashiri MA, Yamagishi M. Electrocardiographic QRS Fragmentation as a Marker for Myocardial Scarring in Hypertrophic Cardiomyopathy 2013 Scientific Sessions, Japanese Circulation Society, Yokohama

講演

- ・ 「メカニズムに基づいた心不全の治療戦略 - 心筋線維化を中心に -」 珠洲市医師会講演会, 珠洲市, 2013 年 2 月 5 日
- ・ 「メカニズムに基づいた心不全の治療戦略」 石川県済生会金沢病院地域連携会, 金沢市, 2013 年 2 月 14 日
- ・ 「心筋線維化のメカニズムに基づいた心不全治療」 金沢高血圧研究会, 金沢市, 2013 年 5 月 30 日
- ・ 「トルバプタンを用いた臨床研究の概要」 水利尿を考える会, 金沢市, 2013 年 7 月 5 日
- ・ 「心筋線維化のメカニズムに基づいた心不全治療」 輪島市医師会講演会, 輪島市, 2013 年 8 月 31 日
- ・ 「健康診断結果の考え方」 石川県健康講座, 金沢市, 2013 年 12 月 5 日
- ・ 「肥大型心筋症における CMR の有用性 - 臨床と研究の両側面から -」 名古屋大学循環器内科勉強会, 名古屋市, 2013 年 12 月 12 日

中林 肇

学会発表

- ・ Iwasaki, Y., Shimomura, K., Ayush, E-A., Nakabayashi, H., Kubota, N., Kadowaki, T., Kakei, M., and Yada T. : Insulin directly activates vagal afferent neurons through insulin signaling pathway and voltage-dependent Ca^{2+} influx, Neuro2013 (Kyoto, Japan), 演題番号 P1-2-147, 2013 年 6 月 20~23 日, ポスター発表, 査読有り
- ・ 岩崎有作, 加計正文, 中林肇, Enkh-Amar Ayush, 小平(平野)美里, 前島裕子, 矢田俊彦: 臍ポリペプチドとペプチド YY₃₋₃₆ は求心性迷走神経細胞を直接活性化する, 第 90 回日本生理学会大会(東京), 演題番号 3PK-142, 2013 年 3 月 27-29 日, ポスター発表
- ・ 岩崎有作, 加計正文, 中林肇, Enkh-Amar Ayush, 小平(平野)美里, 前島裕子, 矢田俊彦: 単離求心性迷走神経細胞に対する臍ポリペプチドとペプチド YY₃₋₃₆ の直接作用, 第 67 回日本栄養・食糧学会大会(愛知), 演題番号 3D-04a, 2013 年 5 月 24-26 日, 口頭発表
- ・ 岩崎有作, 下村健寿, 河野大介, 出崎克也, Enkh-Amar Ayush, 中林肇, 窪田直人, 門脇孝, 加計正文, 中田正範, 矢田俊彦: インスリンはインスリンカスケードを介して求心性迷走神経を活性化し, 過食・肥満を呈する IRS2 欠損マウスではこの作用が障害される, 第 12 回自治医科大学シンポジウム(栃木), 演題番号 50, 2013 年 9 月 5 日, ポスター発表
- ・ Iwasaki, Y., Maejima, Y., Kakei, M., Yoshida, M., Yamato, S., Nakabayashi, H. and Yada, T. : Peripheral oxytocin activates vagal afferent neurons and thereby decreases food intake, The 36th Naito conference (北海道), ポスター番号 53, 2013 年 9 月 10-13 日, ポスター発表
- ・ 岩崎有作, 下村健寿, 河野大輔, 出崎克也, Enkh-Amar Ayush, 中林肇, 窪田直人, 門脇孝, 加計正文, 中田正範, 矢田俊彦: 臍臓を支配する求心性迷走神経は臍臓から分泌されるインスリンを効率良く受容する, 第 34 回日本肥満学会(東京), 演題番号 O-144, 2013 年 10 月 11-12 日, ポスター発表

論文, 報告書等

- ・ Nishizawa, M., Nakabayashi, H., Uehara, K., Nakagawa, A., Uchida, K., Koya, D., : Intraportal GLP-1 stimulates insulin secretion predominantly through the hepatoportal-pancreatic vagal reflex pathways. Am J Physiol Endocrinol Metab, 305, E376-E387 (2013)
- ・ Kimura, K., Nakamura, Y., Inaba, Y., Matsumoto, M., Kido, Y., Asahara, S., Matsuda, T., Watanabe, H., Maeda, A., Inagaki, F., Mukai, C., Takeda, K., Akira, S., Ota, T., Nakabayashi, H., Kaneko, S., Kasuga, M., Inoue, H.: Histidine augments the

- suppression of hepatic glucose production by central insulin action. *Diabetes*, 62, 2266-2277 (2013)
- Iwasaki, Y., Kakei, M., Nakabayashi, H., Ayush, EA., Hirano-Kodaira, M., Maejima, Y. and Yada, T.: Pancreatic polypeptide and peptide YY₃₋₃₆ induce Ca²⁺ signaling in nodose ganglion neurons. *Neuropeptides*, 47, 19-23 (2013)
 - Iwasaki, Y., Shimomura, K., Kohno, D., Dezaki, K., Ayush, EA., Nakabayashi, H., Kubota, N., Kadowaki, T., Kakei, M., Nakata, M., and Yada, T. Insulin activates vagal afferent neurons including those innervating pancreas via insulin cascade and Ca²⁺ influx: Its dysfunction in IRS2-KO mice with hyperphagic obesity. *PLoS One*, 8(6), e67198 (2013)
 - 西澤 誠, 中林 肇: インクレチン関連薬による糖尿病治療の新時代; 糖尿病治療とインクレチン - インクレチンによるインスリン分泌と神経系, 成人病と生活習慣病43巻12号 (12月号印刷中)

2. スポーツ教育部門

北浦 孝

学内委員会など

- ・ 共通教育「身体・スポーツグループ」幹事
- ・ 体育施設管理運営ワーキンググループ, 委員

学内での教育的活動

(共通教育)

- | | | |
|--------------------------------|------|--------------|
| ・ 「リフレッシュスポーツ・実技」 (前期) | 1 コマ | 16 回/16 週を担当 |
| ・ 「基礎トレーニング・実技」 (前期) | 1 コマ | 16 回/16 週を担当 |
| ・ 「ソフトボール・実技」 (前期) | 1 コマ | 16 回/16 週を担当 |
| ・ 「スポーツ生命科学実験・ゼミ」 (前期) | 1 コマ | 16 回/16 週を担当 |
| ・ 「集中：野外活動・実技」 (前期) | 1 コマ | 16 回/16 週を担当 |
| ・ 「バスケットボール・実技」 (後期) | 2 コマ | 16 回/16 週を担当 |
| ・ 「Jog&Circuit トレーニング・実技」 (後期) | 1 コマ | 16 回/16 週を担当 |
| ・ 「パワートレーニング・演習」 (後期) | 1 コマ | 16 回/16 週を担当 |
| ・ 「集中：初心者スキー・実技」 (後期) | 1 コマ | 16 回/16 週を担当 |

(学域・学類：自然システム学類)

- | | | |
|-------------------|------|--------------|
| ・ 「生体機能学・講義」 (前期) | 1 コマ | 16 回/16 週を担当 |
| ・ アメリカンフットボール部 顧問 | | |
| ・ チア・リーダー部 顧問 | | |
| ・ アスレチックトレーナー部 顧問 | | |

学会における貢献

- ・ アメリカスポーツ医学会 評議員 (Fellow)
- ・ 日本体力医学会 評議員
- ・ 日本生理学会 会員
- ・ 日本生物物理学会 会員
- ・ 日本薬理学会 会員
- ・ 日本生化学会 会員

学会・研究会における講演

- ・ 北浦 孝：「食とドーピング」, 第 1 回 食と環境, そして高齢化を考える研究会, 金沢, 2013/11/22

論文・報告書等

(論文)

- ・ Kitaura T. How β_2 adrenergic agonists induce skeletal muscle hypertrophy? J Phys Fitness Sports Med. (2013) 2(4); 423-428.

論文査読

- ・ 英文雑誌 1 件 J. Pharmac. Pharmacol.

学外における役職

- ・ 石川県アメリカンフットボール協会 理事長
- ・ 北陸アメリカンフットボール協会 副理事長
- ・ 北陸学生アメリカンフットボール連盟 顧問

寶學 淳郎

学内委員会など

- ・ 共通教育「身体・スポーツグループ」幹事代表

- ・ 共通教育教務・学生委員会委員
- ・ 共通教育総合科目・テーマ科目・一般科目企画部会委員
- ・ 学生生活部会委員

学内での教育的活動

(学部)

- ・ スポーツの歴史 (2013, 前期, 15 コマ/15 を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 フットサル&サッカー(2013, 前期, 2 クラス, 15 コマ/15 を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 リフレッシュスポーツ (2013, 前期, 15 コマ/15 を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 野外活動 (2013, 前期集中, 15 コマ/15 を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 初心者テニス (2013, 前期, 15 コマ/15 を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 初心者テニス (2013, 後期, 15 コマ/15 を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 フットサル&サッカー (2013, 後期2クラス, 15 コマ/15 を担当)
- ・ 身体・スポーツ実技 初心者スキー(2013, 後期集中, 15 コマ/15 を担当)

(大学院－教育学研究科)

- ・ 保健体育科教科内容特論 F (2013, 前期, 15 コマ/15 を担当)
- ・ 教育実践基礎研究 A (2013, 前期, 3 コマ/15 を担当)
- ・ 課題研究 I (2013, 前期, 15 コマ/15 を担当)
- ・ 保健体育科教科内容研究演習 F (2013, 後期, 15 コマ/15 を担当)
- ・ 課題研究 II (2013, 後期, 15 コマ/15 を担当)
- ・ 教育実践応用研究 B (2013, 前期, 15 コマ/15 を担当)

(教員免許状更新講習)

- ・ 平成 25 年度教員免許状更新講習講師

学会における貢献

- ・ 東北アジア体育・スポーツ史学会 日本支部理事 2013
- ・ 日本スポーツ産業学会 スポーツ産業史専門分科会 運営委員 2013

学会論文査読

- ・ 2013 年度「体育学研究」 3 編

論文・報告書等

- ・ 實學淳郎, 東ドイツスポーツ史の再構成－「東ドイツスポーツ編年史」(1995-1998)を中心として－, 『体育・スポーツ史にみる戦前と戦後』所収, 道和書院, 2013. 6, 196-213 頁
- ・ 實學淳郎, 東ドイツスポーツ史の再構成: 「東ドイツスポーツ編年史」(1995-2000)を中心として－, 東北アジア体育・スポーツ史学会第 10 回大会, 2013. 7, 北海道
- ・ 實學淳郎, 「1956 年から 1960 年までの東ドイツにおける身体文化・スポーツ促進に関する訓令」に関する研究: 性格, 作成時期, 内容, 特徴を中心として, 日本体育学会第 64 回大会, 2012. 8, 滋賀

村山 孝之

学内での教育的活動

<正課授業>

共通教育

- ・ ゼミ/身体運動心理学 (2012 年度) 後期: 1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・ 身体・スポーツ実技/バドミントン (2012 年度) 後期: 2 コマ 15 回/15 週を担当
- ・ 身体・スポーツ実技/ソフトテニス&バドミントン (2012 年度) 後期: 1 コマ 15 回/15 週を担当

- ・ゼミ／身体運動心理学 (2013 年度) 前期：1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技／ソフトテニス中上級 (2013 年度) 前期：1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技／バドミントン (2013 年度) 前期：1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技／野外活動 (2013 年度) 集中講義：1 コマ 担当
- ・メンタルトレーニング 講義 (2013 年度) 後期：1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技／バドミントン (2013 年度) 後期：2 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技／ソフトテニス&バドミントン (2013 年度) 後期：1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技／初心者スキー (2013 年度) 集中講義：1 コマ 担当

学域・学類（人間社会学域地域創造学類）

- ・スポーツ心理学 講義 (2013 年度) 前期：1 コマ 15 回/15 週を担当

大学院（教育学研究科）

- ・保健体育科教科内容研究演習 E (2012 年度) 後期：1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・保健体育科教科内容研究特論 E (2013 年度) 前期：1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・保健体育科教科内容研究演習 E (2013 年度) 後期：1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・教育実践基礎研究 (2013 年度) 前期：1 コマ 3 回/15 週を担当
- ・課題研究 I (2013 年度) 前期：1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・課題研究 II (2013 年度) 前期：1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・教育実践応用研究 B (2013 年度) 前期：1 コマ 15 回/15 週を担当

<課外活動>

- ・ソフトテニス部顧問

学内委員会など

- ・体育・スポーツ施設管理運営ワーキング・グループ委員

学会における貢献

- ・日本スポーツ心理学会 会員
- ・国際スポーツ心理学会 会員
- ・北米スポーツ心理学会 会員
- ・日本スポーツメンタルトレーニング指導士会 会員
- ・日本体育学会 会員
- ・日本認知心理学会 会員
- ・北陸体育学会 会員
- ・運動学習研究会 会員
- ・身体知研究会 会員

論文・報告書など

- ・村山孝之（2013）教員養成系学部・大学院の授業で求められるスポーツ心理学の授業．日本スポーツ心理学会 40 周年記念誌（日本スポーツ心理学会編）pp. 81-82.
- ・石村宇佐一，村山孝之，櫻井貴志（2013）2012 年度人間科学会学術講演会：オリンピックとスポーツ心理学．金沢星稜大学人間科学研究，6.
- ・村山孝之（2013）選手の主体性を高める心理学的手法．平成 24 年度科学的トレーニング特別強化事業報告書（石川県教育委員会），p. 24.
- ・村山孝之（2013）オリンピックとスポーツ心理学．スポーツ心理学研究（平成 24 年度日本スポーツ心理学会「特別講演」報告），40：61-63.

研究助成金

- ・科学研究費補助金 若手研究（B）2013～2016 年度 研究代表者：村山孝之
課題名：プレッシャー下における知覚-運動系，注意，情動の循環的関係の解明

学会発表

- ・ 津田龍佑, 村山孝之, 平下政美, 能雄司, 大森重宜, 宮口和義, 山羽教文 (2013) 幼児期における歩行数と体力・運動能力との関係 -石川県の園児を対象として-. 日本体力医学会第 68 回大会, 日本教育会館, 2013. 9. 21
- ・ 村山孝之 (2013) プレッシャーが運動スキルの遂行に及ぼす影響 -運動スキルの閉鎖・開放次元に着目して-. 日本体育学会第 64 回大会, 立命館大学, 2013. 8. 28

学外講演

- ・ 平成 25 年度石川県ソフトテニス連盟「公認指導員養成講習会」テーマ：ソフトテニス選手の心理サポート 2013 年 12 月 1 日 (日) 13:00~15:00 (北陸電力体育館) 講師
- ・ 平成 25 年度石川県体育協会「公認スポーツ指導者養成講習会」テーマ：運動指導のための心理学 2013 年 11 月 24 日 (日) 15:00~16:00 (いしかわ総合スポーツセンター) 講師
- ・ 平成 25 年度石川県体育協会「ジュニア競技者育成事業」(メンタルトレーニングの実践 1) テーマ：ジュニア期のメンタルトレーニング 2013 年 10 月 13 日 (日) 10:00~12:00 (いしかわ総合スポーツセンター) 講師
- ・ 平成 25 年度アミノバリューランニングクラブ金沢講習会 テーマ：運動・スポーツと心 2013 年 10 月 6 日 (日) 9:00~9:40 (西部緑地公園会議室) 講師
- ・ 平成 25 年度いしかわ科学トレーニング強化事業「“チーム石川” 心理セミナー2」2013 年 7 月 3 日 (水) 17:30~19:30 (いしかわ総合スポーツセンター) 講師
- ・ 平成 25 年度いしかわ科学トレーニング強化事業「“チーム石川” 心理セミナー1」2013 年 6 月 5 日 (水) 17:30~19:30 (いしかわ総合スポーツセンター) 講師
- ・ 平成 24 年度石川県スポーツトレーナー連絡協議会総会講演 テーマ：スランプからオリンピック出場までの道のり 2013 年 3 月 31 日 (日) 16:30~18:00 (ホテル金沢) 講師
- ・ 平成 24 年度白山市スポーツ指導者研修会 テーマ：心理学の視点から効果的な運動学習・指導法を考える ~どうすればスキルが身につくか~ 2013 年 3 月 2 日 (土) 13:30~15:00 (白山市民交流センター) 講師

学外における社会貢献活動

- ・ 石川県教育委員会「いしかわ科学的トレーニング特別強化事業」科学的トレーニング専門グループ委員 (2009~)
- ・ 平成 24 年度日本オリンピック委員会強化スタッフ (2012~)
- ・ 日本ソフトテニス連盟医科学委員 (2011~)
- ・ 歩育推進ネットワークいしかわ研究調査部会委員 (2012~)
- ・ 石川県大学健康教育研究会 (2013~)
- ・ 財団法人 北陸体力科学研究所 評議員 (2010~)
- ・ 北陸大学 非常勤講師 (2010~)
- ・ 金沢学院大学 非常勤講師 (2012~)
- ・ 北陸学生ソフトテニス連盟会長 (2010~)